

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2006-39419 (P2006-39419A)  
【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)  
【年通号数】公開・登録公報 2006-006  
【出願番号】特願 2004-222355 (P2004-222355)  
【国際特許分類】

**G 0 2 B 23/24 (2006.01)**

**A 6 1 B 1/12 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 23/24 A

A 6 1 B 1/12

【手続補正書】  
【提出日】平成 19 年 7 月 17 日 (2007.7.17)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟であって細長な内視鏡挿入部を外周面に巻取りまたは外周面から繰り出しできる回転自在なドラム部が配設された内視鏡装置であって、

上記ドラム部の内部に、発熱部が配設されており、

上記ドラム部に、該ドラム部内の雰囲気または上記発熱部の熱を冷却させる冷却手段が少なくとも 1 つ配設されていることを特徴とする内視鏡装置。

【請求項 2】

上記発熱部は、上記内視鏡の光源部と、上記内視鏡に配設されたカメラのコントロールユニットとの少なくとも一方であることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

上記発熱部は、上記ドラム部の回転中心に配設されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 4】

上記冷却手段は、上記発熱部近傍に配設されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

上記冷却手段は、ファン、ヒートシンク、ヒートパイプ、水冷装置、油冷装置の少なくとも 1 個であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の内視鏡装置。